

今回は未来形と時制の変化。未来形についての追加解説及びウクライナ人の名前について解説する。

未来形は **бути** の現在形を使うことだけを前期では扱ったが、接頭辞や接尾辞などを加えて未来形を表すことができる。

- ・ 単語 **з'їсти** のように接頭辞 **з** を付ける

これは特別な用法であり、作者が確認できたのは高々 **з'їсти** と **зробити** くらいである。

- ・ 単語 **їстиму** のように接尾辞 **му** を付ける

これは意味としては **буду їсти** と同じである。普段はあまりつかわれないので、語数制限、あるいは字数制限がある場合にこれを使うとよい。

これは接尾辞の部分は人称ごとに活用し、動詞の本体は原形をとどめる。

	単数	複数
一人称	-му	-memo
二人称	-меш	-мете
三人称	-ме	-муть

次はウクライナ人の名前について解説する。ここでは本シリーズに登場したヴィクトル及びイヴァシチェンコ家を例に取って解説する。

ヴィクトルのフルネームは Віктор Володимирович Іващенко であり、順番は名→父称→姓である。父称を挟むのは同名を区別する為であるとされる。ただし公的な文書などでは姓→名→父称の順を取り、ヴィクトルであれば Іващенко Віктор Володимирович となる。

女性の例としてヴィクトルの妹を取り上げる。フルネームは Надія Володимирівна Іващенко であり、公的な文書などでは Іващенко Надія Володимирівна となる。

ここで男女共通で注目すべき場所は父称。ともに父親は Володимир であるので、ヴィクトルは男性なので接尾辞 ович を付けて Володимирович となり、妹は女性なので接尾辞 івна を付けて Володимирівна となる。なお女性の父称で父親の名前が й で終わる場合はスペルの結合法則(й + і → і)が適用されて接尾辞が付けられる。

□スキット問題

先生の草加教室でもメイと同じく収録インタビューのコーナーを行っている。今回はヴィクトルのいところ、オレクサンドウルである。

Сенсей: Привіт, я Такахіро Ямамото.

Олександр: Вітаю, я Олександр Леонідович Щербаківський.

Сенсей: Дуже присмно. А вибачте, Чи знаєте ви якісь японські слова?

Олександр: Ні, не я, а мій тато.

Сенсей: Чому ваш тато?

Олександр: Батько моєї бабусі по лінії батька японець.

Сенсей: Ох, Це так?

Олександр: Так.

Сенсей: Скільки вам років?

Олександр: 13. В Японії я навчаюсь у сьомому класі.

Сенсей: Я народився в 1972 році. Отже мені...

Олександр: 51, чи не так?

Сенсей: Так, мені 51 рік.

Олександр: Пам'ятайте ЦЕ!

Сенсей: Тому що мені не треба... але думаю це так.

Олександр: Мій двоюрідний брат Віктор живив в Японії.

Сенсей: Це Віктор Володимирович Івашенко?

Олександр: Так! Його знаєте!

Сенсей: Це маленький світ.

Олександр: Так.

(先生の質問は続くが問題文はここまで)

- (1) オレクサンドウルのフルネームは何か。
- (2) オレクサンドウルの親族に日本人がいるという。オレクサンドウルから見て何親等か。
- (3) ヴィクトルとオレクサンドウルは 6 歳差である。(Так/Hi)

□練習問題

次のカナ表記で書かれたウクライナ人の名前を、名前が先頭になるように並べ替えてキリル文字に直せ。

- (4) セルギイの娘、リュボウ、シチェルバキウスカ
- (5) イヴァシチェンコ、セルギイ、ヴォロディミルの息子
- (6) アンドレイチェンコ、レオニドウの娘、ナディヤ

☆イヴァシチェンコ家の歴史(兄が生まれて以降)

1996-11-12: Иван 誕生

1999-03-19: Віктор 誕生

2002-10-27: Надія 誕生

2005～2008 年: Володимир が独学で学んだ日本語を Віктор に教え、この間に Віктор が日本語を日本でいう小学 2 年生くらいまで習得する

2009-03-下旬: Володимир が Віктор を連れて日本へ。当時親子は大阪府内住み

2014 年: Володимир が通称名として「岩下征(Масаші Івашіта)」を使用し始める

2018-03-31: Віктор が日本の高校卒業相当の試験に合格し、市川へ移住ののち、同 04-02 より山本ウクライナ語教室で助手を始める

2019-09-01: Володимир が日本国籍を取得、通称名を日本名とする

2019-12-06: 交通事故により Іван 逝去

2019-12-23: Віктор が Іван の葬式の為にウクライナへ帰国、この当時はすぐ戻る予定だったが某ウイルス禍で日本に戻れず

2020-03-05: Іван 逝去が Володимир に知らされるが、某ウイルス禍及び 2022 年からの戦争でウクライナへの帰国を果たせず

2020-03-31: Віктор が教室の助手の籍から正式に外れる

2022 年: Віктор がウクライナ兵になる

2022-08-中旬: Оксана と Надія が避難民として日本へ

☆イヴァシチェンコ家の未来の予定

2024 年: Оксана が Володимир の所在を見つけ、Володимир と住みたいと言い Надія と共に永住権を取る。

2025 年: 某戦争が終わっていれば Віктор が日本へ。

2028 年: Володимир の 60 歳記念旅行

2032～2034 年: Надія が日本国籍を取得、日本名を「岩下のぞみ(Нодзومی Івашіта)」とする

※練習問題(5)の人物はこの家族の親族ではない